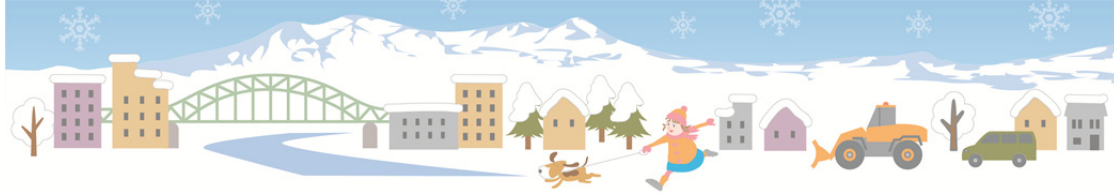




第3章 計画の基本理念と体系

- 1 基本理念と基本方針
- 2 重点目標
- 3 計画の体系



1 基本理念と基本方針

基本理念

「雪とともに，誰もがいきいきと安心して暮らすことができる雪に強い快適な生活環境の実現を目指します」

基本方針

基本理念の実現に向け，市民・企業・行政がお互いの役割分担のもと協働を推進しながら，将来的に安定した除排雪体制の確保や，少子高齢社会に対応した除雪弱者への支援，暴風雪や豪雪時の対応強化などの取組を推進していくために，次の3つを「旭川市雪対策基本計画」の基本方針として設定します。

- 市民・企業・行政における役割分担の明確化と協働の推進
- 行政の支援を通じた自助・共助機能の強化
- 情報共有における媒体の多重化や発信方法の工夫

2 重点目標

(1) 将来的に安定した除排雪体制の確保

【現状】

長引く景気低迷と近年の公共事業の減少により、中小の土木企業が多い除雪企業の体力が低下し、保有する老朽化した除雪車両の維持更新が難しいことや、排雪ダンプトラックの減少、オペレータの高齢化などにより、企業の除雪事業からの撤退が増加している。

【課題】

現在の除排雪体制を維持していくためには、除雪業務における企業の負担を軽減し、経営・雇用の安定化を図るとともに、老朽化した除雪車両の更新や近郊の雪堆積場の確保が必要である。

【取組の方向】

- 企業の除雪事業への参入意欲の促進
- 除雪車両の安定的な確保
- 効率的かつ効果的な除排雪作業の推進
- 恒久的な雪堆積場の整備





(2) 暴風雪や豪雪への対応強化

【現状】

近年、暴風雪、局所的集中降雪、長期の低温傾向、厳寒期の暖気などの異常気象が頻繁に発生しており、平成25年1月3日の暴風雪では、市内全域に大量の吹きだまりが発生し、全路線の除雪作業の完了は翌日の夕方となったため、市民から約2千件の問合せがあった。また、平成23年度以降、3年連続して低温で雪が融けない状況が続き、排雪量が増えたことから、雪堆積場が不足し、緊急に追加開設した。

【課題】

暴風雪や豪雪時には、市民や消防などの関係機関に対し、除雪の進捗状況などの情報提供を速やかに行う必要があることから、情報共有体制を整備する必要がある。

また、除雪企業間の連携による応援体制や、豪雪時においても対応可能な雪堆積場の確保が必要である。

【取組の方向】

- 市民や関係機関との情報共有体制の構築
- 暴風雪時や豪雪時の除排雪対応の強化



(3) 地域除雪活動（市民協働）の推進

【現状】

近年の社会情勢の変化により、市民ニーズは多様化していることから、除排雪に関する要望も多岐にわたっているほか、除排雪作業の支障となる道路への雪出しや路上駐車が後を絶たない状況にある。

【課題】

厳しい財政状況下では、限られた予算での効率的かつ効果的な除排雪が求められており、増大する市民ニーズや除雪マナーの低下に対して、行政だけでは対応には限界があることから、除雪事業における市民参加の拡充を図り、市民・企業・行政のそれぞれの役割分担のもと、市民協働を推進していく必要がある。

【取組の方向】

- 地区除雪連絡協議会と地域まちづくり推進協議会との連携
- 市民・企業・行政の役割分担を明確にし、地域の雪に関する課題について協働で対応
- 除雪マナーの向上に向けた取組
- 地域の雪押し場の確保





(4) 除雪弱者への支援体制の推進

【現状】

本市の人口は減少傾向に推移する一方で、65歳以上の高齢者人口は増加していることから、地域における「除雪の担い手不足」が生じている。

【課題】

除雪の担い手を確保するため、行政の支援を通じた自助・共助機能の強化や、これまでの支援制度の内容を整理し、より利用しやすい仕組みとすること、市民協働やボランティアへの参加意欲を促進させることが必要である。

【取組の方向】

- 利用しやすい支援制度の仕組みづくり
- 支援制度を活用した自助・共助機能の強化
- ボランティアへの参加意欲の促進

(5) 情報共有体制の推進

【現状】

雪対策に関する情報については、シーズン前に開催する地区除雪連絡協議会の場や、全戸配付の市民広報や回覧板などの紙媒体、ホームページなどにより提供しているが、近年、スマートフォン、*ソーシャルメディアの普及、地上デジタル放送の開始等、情報通信技術の高度化が進んでいる。

【課題】

情報通信技術の高度化を踏まえ、より効果的な手法による情報発信を行う必要があるとともに、インターネット環境を有しない市民もいることから、多様な情報メディアによる雪対策の情報発信が必要である。

また、市民周知における情報の内容が分かりにくいとの意見もあり、より分かりやすくするためには、図を用いるなど表現方法の工夫が必要である。

【取組の方向】

- 市民や関係機関との情報共有体制の構築
- ソーシャルメディアなど効果的な情報媒体の活用
- 市民に分かりやすい表現方法の工夫

*ソーシャルメディア：インターネットを利用して情報を発信し、あるいは相互に情報をやりとりする伝達手段。

3 計画の体系

基本理念と3つの基本方針を踏まえ、5つの重点目標の達成に向けて、「快適な冬期道路ネットワークの確保」、「市民協働の推進と除雪マナーの向上」、「少子高齢社会に対応する雪対策」、「親雪・利雪・克雪の推進」の4つの施策を展開します。





旭川市雪対策基

基本理念

雪とともに、誰もがいきいきと
安心して暮らすことができると
雪に強い快適な生活環境の
実現を目指します

基本方針

重点目標

将来的に安定した
除排雪体制の確保

暴風雪や豪雪への
対応強化

地域除雪活動
(市民協働)の推進

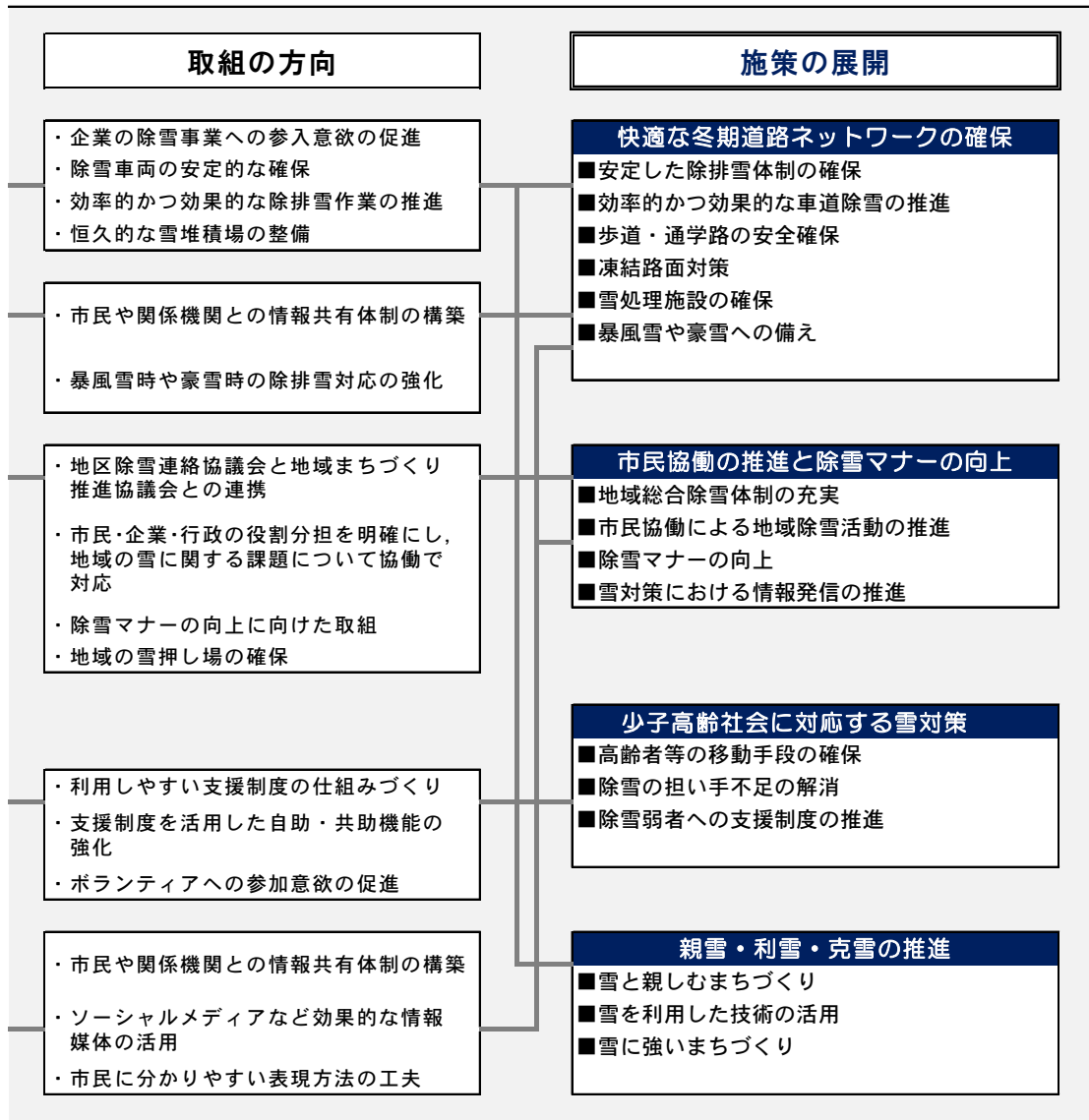
除雪弱者への
支援体制の推進

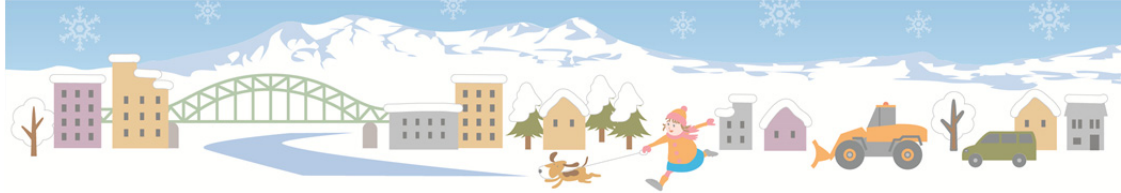
情報共有体制の推進



本計画の体系図

- 市民・企業・行政における役割分担の明確化と協働の推進
- 行政の支援を通じた自助・共助機能の強化
- 情報共有における媒体の多重化や発信方法の工夫





大正橋のアーチの雪氷落とし



大正橋などのアーチ橋は、雪氷落下による事故防止のため、高所作業車で定期的に雪氷を除去している。